

メキシコ留学日記 7月号

見山達哉

メキシコでの最終月である 7 月は学校も終わっていたため、例年通りであれば日墨研修生は旅行へ行ったりしていました。しかし、残念ながら本年度はコロナウイルスの影響で観光地も開いておらず、最終月もできるだけ自宅で過ごしました。そんな生活の中でも、料理をしたり、友人宅に行ったり、たまにレストランに食事へ行くことで最終月のメキシコ生活を楽しましました。

さて、今回のレポートでは友人に連れていってもらったメキシコ州にある Tepotzotlán(テポソトラン) についてご紹介したいと思います。

Tepotzotlán

Tepotzotlán (テポソトラン) はメキシコ州にある小さな村です。Pueblo mágico (プエブロ・マヒコ) として知られており、メキシコ州にある有名な観光地のひとつです。Pueblo mágico (プエブロ・マヒコ) とは直訳すると「魔法の村」で、国の観光局から「とても魅力的な観光地」として認定された街・村のリストに入っています。私はお世話になっていたメキシコ人の友人とその家族に朝食を食べるために連れていっていただきました。村の中心の広場にあるレストランで朝食をとったのですが、どこもカラフルで街並みも可愛く、Pueblo mágico (プエブロ・マヒコ) に選ばれているのも納得でした。レストランでは、Sopa de tortilla (ソパ・デ・トルテージャ) という、トルテージャ、アボカド、チーズの入ったスープを食べたのですが、少し辛味のあるスープがチーズの味にマッチしてとても美味しかったです。

残念ながら、コロナウイルスの影響で多くの店は閉まっておりました。また、街の中心にある教会や美術館の中は見学することはできませんでした。

しかし、街の雰囲気はとても可愛くメキシコらしいのでコロナウイルスが落ち着いたらまた行きたいと思います。メキシコでの最終月に埼玉県の子妹州である、メキシコ州の観光地である Tepotzotlán (テポソトラン) へ訪れることができ非常に良かったです。色に溢れてとてもメキシコらしい村なのでコロナウイルスがおさまったら皆さんにも是非訪れていただきたいと思います。



(Tepoztlán の教会)



(Sopa de tortilla)

メキシコでの最終月

メキシコでの最終月は、メキシコ人の友人達の愛情を感じる事が非常に多かったです。例えば、先ほども述べたようにお世話になった友人とその家族に遠出に連れていってもらったり、友人達にお別れパーティーを開いてもらったりとコロナウイルスで旅行などはできなかったものの非常に充実した日々だったと思います。

留学に来る前は控えめな日本人とはまったく違った性格をもつメキシコ人と仲良くなれるかとても不安でした。しかし、お別れパーティーや空港で「あなたに会えて良かった」、「あなたがいなくなって寂しい」と友人達がハグしてくれた時に、素晴らしい友人達に恵まれ、メキシコへ留学して本当に良かったと心から思いました。友人達のおかげでメキシコという国が心から好きになりました。これから来る日墨研修生には、自分の殻を破って積極的にメキシコ人の友人を作っていってほしいと思います。

今回を持ちまして私からの毎月1回のレポート更新を終わります。私のレポートを通して、メキシコに興味を持っていただけたら嬉しいです。



(お別れパーティーの写真)